

**脱背伸びが大切  
金子監督見守る**

○…就任2年目の金子監督は前任の大町北で女子サッカー部監督を務めた北信越でまず1勝を狙う。赤穂の進撃を支える父兄会がつくった横断幕

インターハイと全国高校選手権に導いた経歴を持つ。当時は県代表チームを指揮する焦り、プレッシャーを感じていたという。その経験を礎に「すぐに上達しない。背伸びしないでやる姿勢が大切」と、地に足を着けて選手たちの背中を押す。

**気合の初陣 新潟・長岡商との対戦熱望**  
**赤穂つないでまず初戦突破**

北信越高校新人バレーボール大会はさようじ日市から白旗の日程で東野市と岡谷市で動戦が行われる。

注目を集めるのが女子の赤穂。1月の県予選で優勝立を誇って上位と躍進し、上位4校に与えられる代表の有力候補と目される。赤穂は「赤穂の女子バレーは、一歩先の選手たちで、これからは」という意気込みで、県予選で優勝した。チームは昨年1月のインターハイ予選後に新潟・長岡商との対戦を熱望している。

女子バレーボール大会 新潟県予選結果

順位	学校名	対戦相手	スコア
1	赤穂	長岡商	2-0
2	長岡商	赤穂	0-2
3	長岡商	長岡商	2-0
4	長岡商	長岡商	2-0

北信越高校新人バレーボール大会 新潟県予選結果

順位	学校名	対戦相手	スコア
1	赤穂	長岡商	2-0
2	長岡商	赤穂	0-2
3	長岡商	長岡商	2-0
4	長岡商	長岡商	2-0

同記事 2月14日(日)

▽女子1回戦  
石川 2(25-22)0 赤穂

**初挑戦あと一歩**

〈赤穂〉県4位で初めて挑んだ舞台で惜しくも初勝利はならなかった。持ち前のつなぐバレーで黒鏡(石川)から1、2セットとも22点を奪う粘りを見せたものの、いずれもあと一歩及ばず、ストレート負けを喫した。就任2年目の金子純也監督(39)は「サーブが入らなかった。それ以外は互角だった」と、今後への収穫を得た様子。目標にしていた新潟1位・長岡商との2回戦には進めなかったが、「この場に連れてきてくれて感謝している」と11人の選手たちに言葉をかけた。

